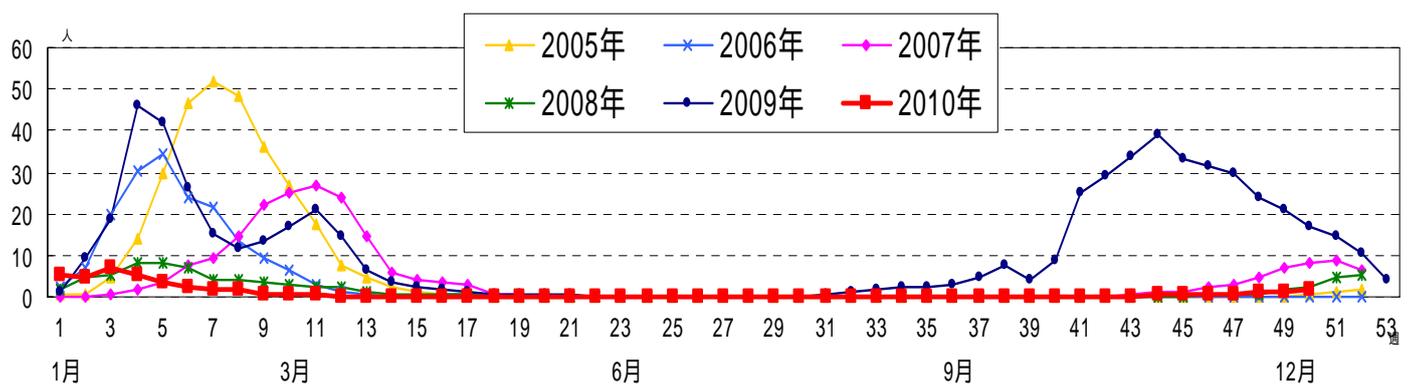


# 横浜市インフルエンザ流行情報 1号

横浜市健康福祉局健康安全課 / 横浜市衛生研究所

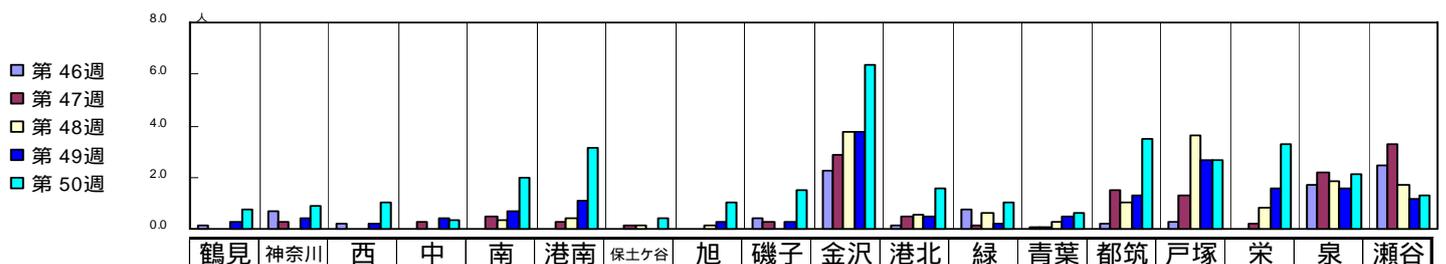
**トピックス** 市内全域で、「インフルエンザの流行のめやす」を超えました。  
 市内の迅速キットでの結果では、第 50 週は A 型が 154 件、B 型が 62 件です。  
 過去 5 週間の市内の B 型の 7 割は金沢区で報告されています。  
 11 月以降報告された集団発生では、B 型 2 件(金沢区、栄区)、A 香港 4 件(泉区、都筑区、瀬谷区、戸塚区)でした。

- 市内 150 か所(小児科 91 内科 59)の定点医療機関からの報告で、第 50 週(12 月 13 日～19 日)で、1 定点医療機関あたりの 1 週間の受診者数(以後、定点あたりとする)が 1.88 で、「流行のめやす」<sup>注1)</sup>である「定点あたり 1」を超えました。

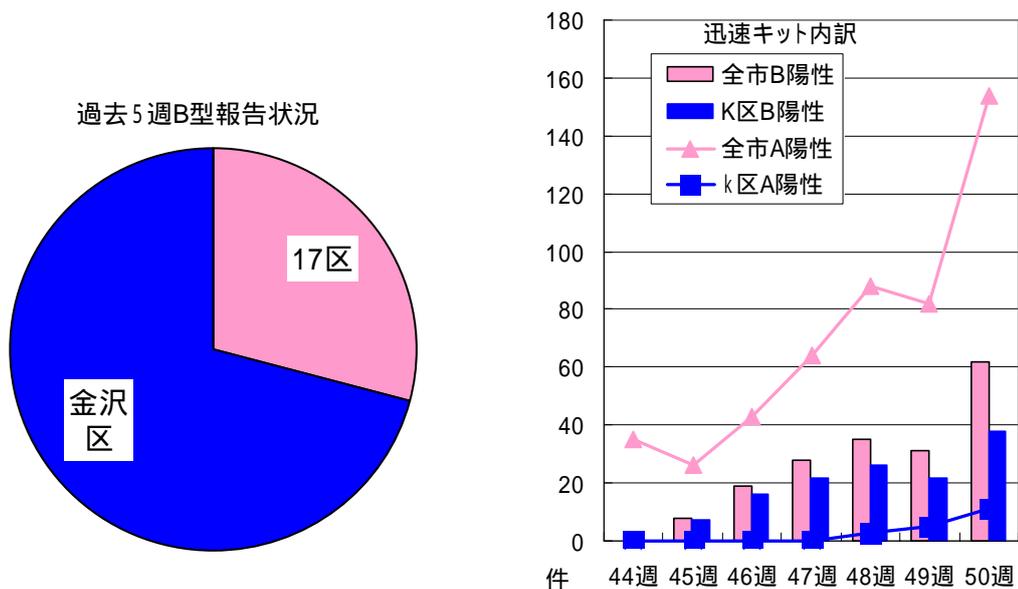


<sup>注1)</sup> インフルエンザの流行状態を把握する指標として、定点あたり「1」以上の「流行のめやす」、定点あたり「10」以上の「注意報」、定点あたり「30」以上の「警報」の3つがあり、横浜市では、150 の定点医療機関からの届出数で、流行の状態を判断しています。

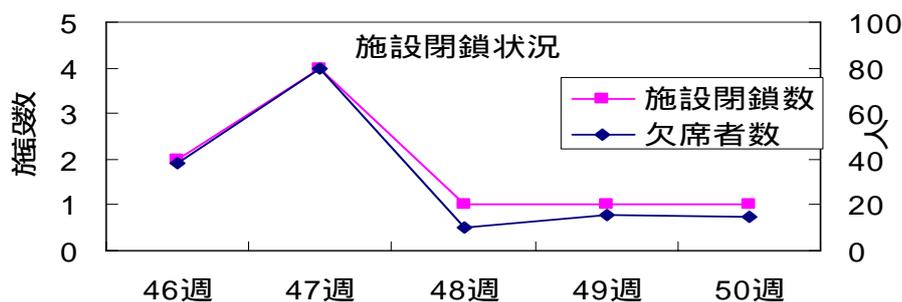
- 行政区別情報:金沢区 6.38、都筑区 3.50、栄区 3.25、港南区 3.14、戸塚区 2.70、泉区 2.14、南区 2.00 が高めです。



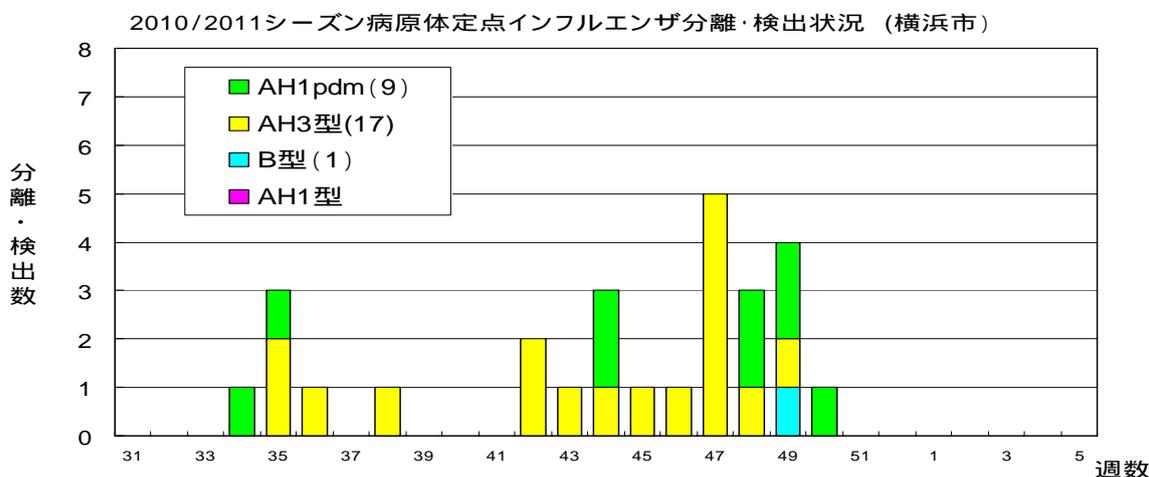
3 迅速キット内訳: 過去 5 週間の市内の B 型の 7 割は金沢区から報告されています。迅速キットで、B 型が半数以上を占める区は、他に港北区、神奈川区があります。



4 市内施設閉鎖状況: 今シーズンは9施設の施設閉鎖が報告されています。



5 病原体検出状況: A パンデミック(新型)と、A 香港が主に検出されています。



【お問い合わせ先】

横浜市健康福祉局健康安全課

TEL045(671)2463

横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課

TEL045(754)9816

同

検査研究課ウイルス担当

TEL 045(754)9804